

# 論文審査の結果の要旨

氏名 セリラット シリラット

本論文は、「近代都市における露天商（ストリート・ベンディング）の役割と時空的アイデンティティについて――バンコクの事例」と題する。研究対象としてバンコクの露天商を扱い、現代都市の計画とデザインの視点から露天商の役割を理解すること、その時間と空間的な特性を明にすること、そして、都市の計画とデザインへの提言を目的としている。シンガポールや香港では、近代化とともに露天商が整理され囲い込まれているのに対して、バンコクでは今でも市民の日常生活を支えている重要な小売りならびにサービス業の形態であり続け、1997年のアジア通貨危機以降には露天商の数は増えている。

研究方法は、フィールドワークによって事例収集をおこないそれを資料として分析するという方法であり、それは現代都市の民俗誌的研究とも言えよう。

本論文は三部構成である。第一部「背景」は4章からなり、研究の目的、用語定義、方法論などが示し、予備調査（東京、パリそしてバンコクの布地の小売店集積地の比較、およびハノイ、プノンペン、クアラルンプール、ジャカルタ、シンガポール、香港、マニラ、バンコクにおける露天商の実態）と先行研究を概観し研究の枠組みの絞り込みを行う。

第二部「現象の既述」は5章からなり、バンコク市内三カ所でのフィールドワークの詳細、特に面接調査の会話を通して、露天商の店主、顧客の露天商業への関わり方の実相が明にされる。第5章では、バンコクの露天商の全体像について、統計データや専攻研究の成果を援用して述べられる。同時に、自治体が露天商をどう扱っているかを関係官の行政官へのインタビューで明らかにしている。第6章では、385人の消費者に質問票調査をし、消費行動の分析を行っている。タイにも情報化の波が押し寄せ消費高移動に影響を与えていると同時に露天利用が依然として高いことなどが明らかになる。第7章では、伝統的な露天商の形態が残るテウエット地区が対象とされる。ここでは50人の露天商への面接調査が行われている。第8章では、サイアム広場地区が選ばれ61人の露天商への面接調査が行われ、増える外国人をも顧客として想定している。第9章では、2011年の洪水時には水害被害者たちが必要とする商品を取りそろえて消費者の需要に応えた。

第三部では二部でおこなった調査結果をつき合わせて考察している。第10章では、上記3事例を比較し、近年、柔軟で発展的で、社会文化的な環境の変化や気候変動あるいは情報化など様々な変化に対応できるようになったとしている。続いて、露天商がもつ包括性を指摘する。それは都市に「手づくりの公共空間を」形成するうえで役割を担う。これら

の露天商のもつ特質は、人間味を失った現代都市の救済において大きな役割が期待されるとしている。

付録には、関連する地図、インタビュー、調査用紙などが収録されている。

これまで、アジアの露天商は、小売りの形態としては発展途上の形態として見なされ、経済発展とともに、より洗練された形態に移行するべき存在として捉えられてきた。また、不衛生や公共空間の不法占拠などの問題も指摘され、都市の後進性の現れとも見なされてきた。実際アジアの先進都市では日本の都市も含め、露天商に強い規制を掛け消滅する流れにある。しかし、一方では、露天商は公共空間の賑わいを生み出す人間スケールの装置として、あるいは商店主との人間的接触の豊かさなどが人々を引きつけてやまなかったことも事実である。

このような従来の露天商に対する見方に対して、本研究の成果の意義を総括すると、以下の4点に大きくまとめられる。

1. 現代バンコクにおける、露天商の実態を多数の商店主と顧客と行政官への面接調査、面接票調査、現地の商店構成の調査を駆使して、その実相を明にしたこと。
2. 露天商の店舗の軽微さと可動性の高さによって、営業場所も営業時間も容易に変えることができる。その結果、時間帯によって商店主が入れ替わり、時間帯によって変わる通行人に応じて商品構成を変え、更には、洪水時に被災者が必要とする商品を取り揃えるという即応力を発揮している実相を明らかにしたこと。
3. 露天商は、小資本で開業でき、農村からの都市流入民に手軽な収入の道を確認する手段となっている。更に、経済環境が安定しないタイでは、不安定な雇用と収入を補完する役割を担って来たことを明にしたこと。
4. これらの特性は露天商のもつ「柔軟性」として特徴付けることができ、都市の経済と流通のシステムを補完するシステムとして機能し、都市のレジリエンスを高めていることを指摘したこと。  
これらの特色は、先進諸国の都心においても、今日的な商業形態としての可能性に光を当てている。

以上のように、本研究は、都市設計学、建築学の発展に寄与するところが多大である。よって本論文は博士（環境）の学位請求論文として合格と認められる。

以上 2000 字